

山口県環境影響評価技術指針解説書  
資料編

令和2年4月（改訂）

山口県環境生活部環境政策課



## 目次

### 環境影響評価項目の選定例および参考手法

1	道路の新設又は改築の事業	1
2	ダム、堰又は放水路の新築または改築の事業	9
2-1	ダム	9
2-2	堰	19
2-3	放水路	28
3	鉄道又は軌道の建設または改良の事業	37
3-1	鉄道	37
3-2	軌道	44
4	飛行場又はその施設の設置又は変更	51
5	発電所の設置又は変更の事業	60
5-1	水力発電所	60
5-2	火力発電所及び原子力発電所	71
5-3	風力発電所	88
5-4	太陽光発電所	99
6	廃棄物処理施設の設置又は変更の事業	108
6-1	ごみ焼却場	108
6-2	し尿処理施設	117
6-3	廃棄物最終処分場	125
7	工場又は事業場の新築又は改築の事業	134
8	下水道終末処理場の新築又は改築の事業	143
9	スポーツ又はレクリエーション施設の設置若しくは変更 又はその用地の造成の事業	151
10	水面の埋立て又は干拓の事業	160
11	土地区画整理事業	167
12	住宅の用に供する一団の土地の造成事業	173
13	流通業務施設の用に供する一団の土地の造成事業	179
14	工場又は事業場の用に供する一団の土地の造成事業	185
15	鉱物又は岩石の採取の事業	193
16	複合開発整備事業	201



1 道路の新設又は改築の事業

表 環境影響評価項目の例

影響要因の区分  環境要素の区分			工 事 の 実 施					土地又は工作物の存在及び供用				
			建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	切土工等又は既存の工作物の除去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	道路(地表式又は掘割式)の存在	道路(嵩上式)の存在	自動車の走行	休憩所の供用	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物								○	
			浮遊粒子状物質								○	
			粉じん等	○	○							
		騒音	騒音	○	○						○	
		振動	振動	○	○						○	
	水環境	水質	水の濁り									○
			水の汚れ									○
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○		○			
その他の環境要素		日照阻害							○			
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地					○	○				
	植物	重要な種及び群落					○	○				
	生態系	地域を特徴付ける生態系					○	○				
人と自然との豊かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び圍繞景観						○				
	人と自然との触れ合いの活動の場	重要な人と自然との触れ合いの活動の場						○				
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物			○							

参考手法（道路の新設又は改築）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	自動車の走行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況；二酸化窒素に係る環境基準に規定する測定方法</li> <li>ロ 風の状況；気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>計画交通量の発生が見込まれる時期</p> </li> </ol>
浮遊粒子状物質	自動車の走行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する測定方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがあると地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、予測地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>計画交通量の発生が見込まれる時期</p> </li> </ol>
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <p>気象の状況</p> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域               <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点</li> </ol>

		<p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4. 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特</p>

		<p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえて予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	自動車の走行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 対象道路事業により新設又は改築される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 計画交通量の発生が見込まれる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域にお</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>



		ける振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期	
資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 振動の状況</li> <li>ロ 地盤の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動レベルの80%レンジの上端値を予測するための式を用いた計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</li> </ul> </li> </ol>	
自動車の走行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 振動の状況</li> <li>ロ 地盤の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動レベルの80%レンジの上端値を予測するための式を用いた計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>計画交通量の発生が見込まれる時期</li> </ul> </li> </ol>	
水の濁り	休憩所の供用	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>国又は関係する地方公共団体による水質に係る規制等の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水を排水する公共用水域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>原単位法により浮遊物質量を計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水を排水する公共用水域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水を排水する地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>計画交通量の発生が見込まれる時</li> </ul> </li> </ol>

		汚水を排水する地点	期
水の汚れ	休憩所の供用	1 調査すべき情報 国又は関係する地方公共団体による水質に係る規制等の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理 3 調査地域 汚水を排水する公共用水域 4 調査地点 汚水を排水する地点	1 予測の基本的な方法 原単位法により生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量を計算 2 予測地域 汚水を排水する公共用水域 3 予測地点 汚水を排水する地点 4 予測対象時期等 計画交通量の発生が見込まれる時期
重要な地形及び地質	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置	1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象道路事業実施区域及びその周辺の区域 4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期	1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期
	道路（地表式又は掘削式）の存在及び道路（嵩上げ式）の存在		
日照阻害	道路（嵩上げ式）の存在	1 調査すべき情報 イ 土地利用の状況 ロ 地形の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理 3 調査地域 土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照阻害に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査期間等 土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握できる時期	1 予測の基本的な方法 等時間の日影線を描いた日影図の作成 2 予測地域 調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照阻害に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 土地利用及び地形の状況を踏まえ、予測地域における日照阻害に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 道路（嵩上げ式）の設置が完了する時期
重要な種及び注目すべき生息地	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置	1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析	1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等
	道路（地表式又は掘削式）の存在及び道路（嵩上げ式）の存在		

		<p>3 調査地域 対象道路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>道路（地表式又は掘削式）の存在及び道路（嵩上げ式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象道路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>道路（地表式又は掘削式）の存在及び道路（嵩上げ式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象道路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

眺望景観及び 周囲景観	道路（地表式又は掘削式）の存在及び道路（嵩上げ式）の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 周囲景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び周囲景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び周囲景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との 触れ合いの活動の場	道路（地表式又は掘削式）の存在及び道路（嵩上げ式）の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象道路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う 副産物	切土工等又は既存の 工作物の撤去		<p>1. 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2. 予測地域 対象道路事業実施区域</p> <p>3. 予測対象時期等 工事期間</p>

2 ダム、堰又は放水路の新築又は改築の事業

2-1 ダム

表 環境影響評価項目の例

影響要因の区分  環境要素の区分				工 事 の 実 施				土地又は工作物の存在及び供用				
				ダムの堤体の工事	原石の採取工事	の工事 施工設備及び道路の設置	道路の付替の工事	ダムの堤体の存在	原石山の跡地の存在	道路の存在	存在 ダムの共用及び貯水池の	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等	○								
		騒音	騒音	○								
		振動	振動	○								
	水環境	水質	水の濁り		○							○
			水温									○
			富栄養化									○
			溶存酸素量									○
		水素イオン濃度	○									
土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質								○		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地	○							○	
	植物		重要な種及び群落	○							○	
	生態系		地域を特徴付ける生態系	○							○	
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観								○	
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場	○							○	
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○								

参考手法（ダム）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	ダムの堤体の工事、原石の採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置の工事並びに道路の付替の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	ダムの堤体の工事、原石の採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置の工事並びに道路の付替の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況 ハ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 イ 建設機械の稼働が予想される対象ダム事業実施区域及びその周辺区域における騒音の状況：騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況：騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
振動	ダムの堤体の工事、原石の採取の工	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 イ 建設機械の稼働に係る振動に</li> </ol>

	<p>事、施工設備及び 工事用道路の設置 の工事並びに道路 の付替の工事</p>	<p>両の運行が予想される道路の沿道における 振動の状況 ロ 地盤の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報 (工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両 の運行が予想される道路の沿道における振動 の状況については、振動規制法施行規則別表 第2備考4及び7に規定する振動の測定の方 法を用いられたものとする。)の収集並びに 当該情報の整理及び解析 3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環 境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域にお ける振動に係る環境影響を予測し、及び評価 するために必要な情報を適切かつ効果的に把 握できる地点 5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域にお ける振動に係る環境影響を予測し、及び評価 するために必要な情報を適切かつ効果的に把 握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>については、事例の引用又は解析 ロ 工事用に資材及び機械の運搬 に用いる車両の運行に係る振動 については、振動レベルの80% レンジの上端値を予測するため の式を用いた計算 2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の 特性を踏まえ、振動に係る環境影 響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予 測地域における振動に係る環境影 響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 工事による振動に係る環境影響 が最大となる時期</p>
水の濁り	<p>ダムの堤体の工事 、原石の採取の工 事、施工設備及び 工事用道路の設置 の工事、道路の付 替の工事</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質質量及びその調査時にお ける流量の状況 ロ 気象の状況 ハ 土質の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報 (浮遊物質質量の状況については、水質汚濁に 係る環境基準に規定する浮遊物質質量の測定 の方法を用いられたものとする。)の収集並び に当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域 4 調査地点 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏 まえ、調査地域における水の濁りに係る環境 影響を予測し、及び評価するために必要な情 報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏 まえ、調査地域における水の濁りに係る環境 影響を予測し、及び評価するために必要な情 報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時 期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及 び水の濁りの変化の特性を踏まえ 、水の濁りに係る環境影響を受け るおそれがある地域 3 予測地点 流域の特性及び水の濁りの変化 の特性を踏まえ、予測地域におけ る水の濁りに係る環境影響を的確 に把握できる地点 4 予測対象時期等 工事に伴う土砂による水の濁り に係る環境影響が最大となる時期</p>
	<p>ダムの供用及び貯 水池の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質質量及びその調査時にお ける流量の状況 ロ 気象の状況 ハ 水温の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報 (浮遊物質質量の状況については、水質汚濁に</p>	<p>1 予測の基本的な方法 浮遊物質の物質の収支に関する 計算又は事例の引用若しくは解析 2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及 び土砂による水の濁りの変化の特 性を踏まえ、土砂による水の濁り に係る環境影響を受けるおそれが</p>

		<p>係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえ、土砂による水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の土砂による水の濁りの予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における土砂による水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における土砂による水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>ある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び土砂による水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における土砂による水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ダムの供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水温	ダムの供用及び貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 水温及びその調査時における流量の状況 ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水温の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、調査地域における水温に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、調査地域における水温に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 熱の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、予測地域における水温に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ダムの供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
富栄養化	ダムの供用及び貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 富栄養化に係る事項及びその調査時における流量の状況 ロ 気象の状況 ハ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法 統計的手法、富栄養化に係る物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、予測</p>



		<p>3 調査地域 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の富栄養化の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ダムの供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
溶存酸素量	ダムの供用及び貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 溶存酸素の状況 ロ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（溶存酸素量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、溶存酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の溶存酸素量の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、調査地域における溶存酸素量に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、調査地域における溶存酸素量に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 溶存酸素の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、溶存酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、予測地域における溶存酸素量に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ダムの供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水素イオン濃度	ダムの堤体の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 水素イオン濃度及びその調査時における流量の状況 ロ 利水の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（水素イオン濃度の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する水素イオン濃度の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 ダム堤体の工事実施区域及びその周辺の区</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、予測地域における水素イオン濃度に係る環境影響を的確に把握できる地点</p>

		<p>域並びに当該地域より下流の地域で水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、調査地域における水素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、調査地域における水素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>4 予測対象時期等 工事による水素イオン濃度に係る環境影響が最大となる時期</p>
重要な地形及び地質	<p>ダム の 堤 体 の 存 在、原 石 山 の 跡 地 の 存 在、道 路 の 存 在 並 び に だ む の 供 用 及 び 貯 水 池 の 存 在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	<p>ダム の 堤 体 の 工 事、原 石 の 採 取 の 工 事、施 工 設 備 及 び 工 事 用 道 路 の 設 置 の 工 事 並 び に 道 路 の 付 替 の 工 事</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
	ダム の 堤 体 の 存 在、原 石 山 の 跡 地 の 存 在、道 路 の 存 在 並 び に だ む の 供 用 及 び 貯 水 池 の 存 在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>イ 水生生物については、対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象ダム事業実施区域の下流の地域で、ダムの供用によってその生息環境が環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>ロ 水生生物以外の動物については、対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	ダム の 堤 体 の 工 事、原 石 の 採 取 の 工 事、施 工 設 備 及 び 工 事 用 道 路 の 設 置 の 工 事 並 び に 道 路 の 付 替 の 工 事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	ダム の 堤 体 の 存 在	1 調査すべき情報	1 予測の基本的な方法

	、原石山の跡地の存在、道路の存在並びにダム の 供用及び貯水池の存在	<p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 イ 水生植物については、対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象ダム事業実施区域の下流の地域で、ダム の 供用によってその生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域 ロ 水生植物以外の植物については、対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	ダム の 堤体の工事、原石の採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置の工事並びに道路の付替の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	ダム の 堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在並びにダム の 供用及び貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 イ 水生動植物については、対象ダム事業実</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度（土砂の移動に関する計算又は事例の引用若しくは解析により把握された貯水池内の河床の変化の程度及び事例の引用又は解析により把握されたダム の 下流の河床の変化の程度を含む。）を踏まえた事</p>

		<p>施区域及びその周辺の区域並びに対象ダム事業実施区域の下流の地域で、ダムの供用によってその生息環境又は生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>ロ 水生動植物以外の動植物については、対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び囲繞景観	ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在並びにダムの供用及び貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 囲繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び囲繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び囲繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	<p>ダムの堤体の工事、原石の採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置の工事並びに道路の付替の工事</p> <p>ダムの堤体の存在、原石山の跡地の存在、道路の存在並びにダムの供用及び貯水池の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象ダム事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然と</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		の触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
建設工事に伴う副産物	ダムのかげの工事、原石の採取の工事、施工設備及び工事用道路の設置の工事並びに道路の付替の工事		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</li> <li>2 予測地域 対象ダム事業実施区域</li> <li>3 予測対象時期等 工事期間</li> </ol>

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				工 事 の 実 施			土地又は工作物 の存在及び供用	
				堰 の 工 事	護 岸 の 工 事	掘 削 の 工 事	堰 及 び 護 岸 の 存 在	堰 の 供 用 及 び 湛 水 区 域 の 存 在
環境の自然的構 成要素の良好な 状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等	○				
		騒音	騒音	○				
		振動	振動	○				
	水環境	水質	水の濁り	○				
			富栄養化					○
			溶存酸素量					○
		底質	水底の泥土					○
地下水の水 質及び水位	地下水の水位					○		
土壌に係る環境 ・その他の環境	地形及び地 質	重要な地形及び地質					○	
生物の多様性の 確保及び自然環 境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべ き生息地	○				○	
	植物	重要な種及び群落	○				○	
	生態系	地域を特徴付ける生態 系	○				○	
人と自然との豊 かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び囲 繞景観					○	
	人と自然との触れ合いの活動 の場	主要な人と自然との触 れ合いの活動の場	○				○	
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物	○					

参考手法（堰）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえて予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況 ハ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 イ 建設機械の稼働が予想される対象堰事業実施区域及びその周辺区域における騒音の状況：騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況：騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
振動	堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 イ 建設機械の稼働に係る振動については、事例の引用又は解析 ロ 工事に資材及び機械の運搬</li> </ol>



		<p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する振動の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>に用いる車両の運行に係る振動については、振動レベルの 80 %レンジの上端値を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量及びその調査時における流量の状況 ロ 気象の状況 ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象堰事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事に伴う土砂による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
富栄養化	堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 富栄養化に係る事項及びその調査時における流量の状況 ロ 気象の状況 ハ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられ</p>	<p>1 予測の基本的な方法 統計的手法、富栄養化に係る物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p>

		<p>たものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の富栄養化の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、予測地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 堰の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
溶存酸素量	堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 溶存酸素の状況 ロ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(溶存酸素量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、溶存酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の溶存酸素量の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、調査地域における溶存酸素量に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、調査地域における溶存酸素量に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 溶存酸素の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、溶存酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、予測地域における溶存酸素量に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 堰の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水底の泥土	堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 水底の泥土の状況 ロ 濁度又は浮遊物質量の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 堆積物の移動に関する解析又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえ、水底の泥土に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水底の泥土の変</p>

		<p>流域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえ、水底の泥土に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水底の泥土の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえ、調査地域における水底の泥土に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水底の泥土の変化の特性を踏まえ、調査地域における水底の泥土に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>化の特性を踏まえ、予測地域における水底の泥土に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 堰の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
地下水の水位	堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地下水の水位の状況 ロ 地質の状況 ハ 地下水の利用の状況 ニ 河川の水位の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 地質の特性を踏まえ、地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 地下水の水理に関する解析又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地質の特性を踏まえ、地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 地質の特性を踏まえ、予測地域における地下水の水位に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 地下水の水位に係る環境影響が定常状態になる時期</p>
重要な地形及び地質	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象堰事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>重要な種及び注目すべき生息地</p>	<p>堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況  ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況  ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象堰事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路  5 調査期間等  動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	<p>堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区域の存在</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況  ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況  ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  イ 水生生物については、対象堰事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象堰事業実施区域の下流の地域で、堰の供用によってその生息環境が環境影響を受けるおそれがある地域  ロ 水生生物以外の動物については、対象堰事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路  5 調査期間等  動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>重要な種及び群落</p>	<p>堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況  ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象堰事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路  5 調査期間等  植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	<p>堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区域の存在</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況  ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  イ 水生植物については、対象堰事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象堰事業実施区域の下流の地域で、堰の供用によってその生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域  ロ 水生植物以外の植物については、対象堰事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路  5 調査期間等  植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>地域を特徴づける生態系</p>	<p>堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 動植物その他自然環境に係る概況  ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法  注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環</p>

		<p>対象堰事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 イ 水生動植物については、対象堰事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象堰事業実施区域の下流の地域で、堰の供用によってその生息環境又は生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域 ロ 水生動植物以外の動植物については、対象堰事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び囲繞景観	堰の供用及び湛水区域の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 囲繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び囲繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び囲繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>要な眺望景観及び困繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事</p> <p>堰及び護岸の存在並びに堰の供用及び湛水区域の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象堰事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>堰の工事、護岸の工事及び掘削の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象堰事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>

2-3 放水路

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				工 事 の 実 施			土地又は工 作物の存在 及び供用
				工 事	洪水を分 流させる 施設の	掘 削の工 事	堤 防の工 事
環境の自然的構成 要素の良好な状態 の保持	大気環境	大気質	粉じん等	○			
		騒音	騒音	○			
		振動	振動	○			
	水環境	水質	水の濁り				○
		地下水の水 質及び水位	地下水の塩素イオン濃度				○
			地下水の水位				○
土壌に係 る環境・そ 他の環 境	地形及び地 質	重要な地形及び地質				○	
	地盤	地下水の水位の低下による地盤沈下				○	
生物の多様性の確保 及び自然環境の 体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき 生息地	○			○
	植物		重要な種及び群落	○			○
	生態系		地域を特徴付ける生態系	○			○
人と自然との豊かな 触れ合い	景観		主要な眺望景観及び 困繞景観				○
	人と自然との触れ 合いの活動の場		主要な人と自然との 触れ合いの活動の場	○			○
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○			



参考手法（放水路）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況 ハ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 イ 建設機械の稼働が予想される対象放水路事業実施区域及びその周辺区域における騒音の状況：騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況；騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがあると地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
振動	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 イ 建設機械の稼働に係る振動については、事例の引用又は解析</li> </ol>

	工事	<p>振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する振動の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>ロ 工事に資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動については、振動レベルの80%レンジの上端値を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 濁度又は浮遊物質量及びその調査時における流量の状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>ハ 放流先の水域の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流入元の河川及び放流先の水域の特性並びに水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水の濁りの予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流入元の河川及び放流先の水域の特性並びに水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流入元の河川及び放流先の水域の特性並びに水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 浮遊物質量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流入元の河川及び放流先の水域の特性並びに水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流入元の河川及び放流先の水域の特性並びに水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 洪水時の放水路の供用によって水の濁りに係る環境影響が発生する時期</p>
地下水の塩素イオン濃度	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地下水の塩素イオン濃度の状況</p> <p>ロ 地下水の水位の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法 塩素イオンの物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解</p>

		<p>ハ 地質の状況</p> <p>ニ 地下水の利用の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 地質の特性を踏まえ、地下水の塩素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の塩素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の塩素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地質の特性特性を踏まえ、地下水の塩素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 地質の特性踏まえ、予測地域における地下水の塩素イオン濃度に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 放水路が供用されて地下水の塩素イオン濃度に係る環境影響が定常状態になる時期</p>
地下水の水位	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地下水の水位の状況</p> <p>ロ 地質の状況</p> <p>ハ 地下水の利用の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 地質の特性を踏まえ、地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 地下水の水理に関する解析又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地質の特性を踏まえ、地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 地質の特性を踏まえ、予測地域における地下水の水位に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 放水路が供用されて地下水の水位に係る環境影響が定常状態になる時期</p>
重要な地形及び地質	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地形及び地質の概況</p> <p>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域に</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		おける重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期	
地下水の水位の低下による地盤沈下	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地下水の水位の低下による地盤沈下の状況</p> <p>ロ 地下水の水位の状況</p> <p>ハ 地質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>地質の特性を踏まえ、地下水の水位の低下による地盤沈下に係る環境影響を受けるおそれがある地域区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位の低下による地盤沈下に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位の低下による地盤沈下に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間又は時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>地下水の水理に関する解析又は地盤の圧密に関する解析若しくは事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、地質の特性を踏まえ、地下水の水位の低下による地盤の沈下に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>地質の特性を踏まえ、予測地域における地下水の水位の低下による地盤沈下に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>放水路が供用されて地下水の水位が定常状態になる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の</p>

		<p>生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 イ 水生生物については、対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象放水路事業実施区域の下流の地域で、放水路の供用によってその生息環境が環境影響を受けるおそれがある地域 ロ 水生生物以外の動物については、対象放水路事業実施樹域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種</p>

		<p>の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>イ 水生植物については、対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象放水路事業実施区域の下流の地域で、放水路の供用によってその生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>ロ 水生植物以外の植物については、対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 動植物その他自然環境に係る概況</p> <p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 動植物その他自然環境に係る概況</p> <p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>イ 水生動植物については、対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域並びに対象放水路事業実施区域の下流の地域で、放水路の供用によってその生息環境又は生育環境が環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>ロ 水生動植物以外の動植物については、対</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>象放水路事業実施樹域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
眺望景観及び圍繞景観	放水路の存在及び供用	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	<p>洪水を分流させる施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事</p> <p>放水路の存在及び供用</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象放水路事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う	洪水を分流させる		1 予測の基本的な方法

副産物	施設の工事、掘削の工事及び堤防の工事		建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握 2 予測地域 対象放水路事業実施区域 3 予測対象時期等 工事期間
-----	--------------------	--	--



3 鉄道又は軌道の建設又は改良の事業

3-1 鉄道

表 環境影響評価項目の例

影響要因 の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用						
				建設機械の稼働	両の運行	資材及び機械の運搬に用いる車	去	切土工等又は既存の工作物の除	の存在	鉄道施設（地表式又は掘削式）	鉄道施設（嵩上式）の存在	合を除く	列車の走行（地下を走行する場
環境要素 の区分													
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等	○	○								
		騒音	騒音	○	○					○			
		振動	振動	○	○						○		
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質					○					
その他の環境要素		日照障害						○					
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地					○					
	植物		重要な種及び群落					○					
	生態系		地域を特徴付ける生態系					○					
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び圍繞景観					○					
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場					○					
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物			○							

参考手法（鉄道）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	<p>列車の走行（地下を走行する場合を除く。）</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>騒音の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（建設の事業にあつては騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を、新幹線鉄道に係る鉄道施設の改良事業にあつては新幹線鉄道騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>鉄道施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
<p>振動</p>	<p>建設機械の稼働</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影</p>

	<p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
列車の走行（地下を走行する場合を除く。）及び列車の走行（地下を走行する場合に限る。）	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（建設の事業にあっては、振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 鉄道施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>

		するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
重要な地形及び地質	鉄道施設（地表式又は掘削式）の存在及び鉄道施設（嵩上式）の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地形及び地質の概況</p> <p>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉄道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
日照障害	鉄道施設（嵩上式）の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 土地利用の状況</p> <p>ロ 地形の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>3 調査地域</p> <p>土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照障害に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査期間等</p> <p>土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>等時間の日影線を描いた日影図の作成</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照障害に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>土地利用及び地形の状況を踏まえ、予測地域における日照障害に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>鉄道施設（嵩上式）の設置が完了する時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	鉄道施設（地表式又は掘削式）の存在及び鉄道施設（嵩上式）の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2. 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉄道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
重要な種及び群落	<p>鉄道施設（地表式又は掘削式）の存在及び鉄道施設（嵩上式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉄道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	<p>鉄道施設（地表式又は掘削式）の存在及び鉄道施設（嵩上式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 動植物その他自然環境に係る概況</p> <p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉄道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	<p>鉄道施設（地表式又は掘削式）の存在及び鉄道施設（嵩上式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 主要な眺望景観の状況</p> <p>ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事</p>

		<p>の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域        主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点        景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等        景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域        調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等        景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>鉄道施設（地表式又は掘削式）の存在及び鉄道施設（嵩上式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報        イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況        ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法        文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域        対象鉄道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点        人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等        人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法        主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域        調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等        人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>切土工等又は既存の工作物の撤去</p>		<p>1 予測の基本的な方法        建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域        対象鉄道建設等事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等        工事期間</p>

3-2 軌道

表 環境影響評価項目の例

環境要素の区分 影響要因の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
				建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	切土工等又は既存の工作物の除去	軌道の施設（地表式又は掘削式）の存在	軌道の施設（嵩上式）の存在	車両の走行（地下を走行する場合を除く）	車両の走行（地下を走行する場合に限る）
環境の自然的構	大気環境	大気質	粉じん等	○	○					
		騒音	騒音	○	○			○		
		振動	振動	○	○				○	
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○			
		その他の環境要素	日照阻害					○		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地				○				
	植物	重要な種及び群落				○				
	生態系	地域を特徴付ける生態系				○				
人と自然との豊かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び圍繞景観				○				
	人と自然との触れ合いの活動の場	重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○				
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物			○					



参考手法（軌道）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	車両の走行（地下を走行する場合を除く。）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>騒音の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（建設の事業にあつては騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>軌道の施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p>

		<p>境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>	
車両の走行（地下を走行する場合を除く。）及び車両の走行（地下を走行する場合に限る。）	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（建設の事業にあつては、振動の状況については、振動規制法施行規則に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 軌道の施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>	
重要な地形及び	軌道の施設（地表	1 調査すべき情報	1 予測の基本的な方法

地質	式又は掘削式)の存在及び軌道の施設(嵩上式)の存在	<p>イ 地形及び地質の概況</p> <p>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象軌道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
日照阻害	軌道の施設(嵩上式)の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 土地利用の状況</p> <p>ロ 地形の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>3 調査地域 土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照阻害に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査期間等 土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 等時間の日影線を描いた日影図の作成</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照阻害に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 土地利用及び地形の状況を踏まえ、予測地域における日照阻害に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 軌道の施設(嵩上式)の設置が完了する時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	軌道の施設(地表式又は掘削式)の存在及び軌道の施設(嵩上式)の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象軌道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
重要な種及び群落	軌道の施設（地表式又は掘削式）の存在及び軌道の施設（嵩上式）の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</li> <li>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象軌道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	軌道の施設（地表式又は掘削式）の存在及び軌道の施設（嵩上式）の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 動植物その他自然環境に係る概況</li> <li>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象軌道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	軌道の施設（地表式又は掘削式）の存在及び軌道の施設（嵩上式）の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 主要な眺望景観の状況</li> <li>ロ 圍繞景観の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、景観の特性を</p>

		<p>を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>軌道の施設（地表式又は掘削式）の存在及び軌道の施設（嵩上式）の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象軌道建設等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>切土工等又は既存の工作物の撤去</p>		<p>1. 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2. 予測地域 対象軌道建設等事業実施区域</p> <p>3. 予測対象時期等 工事期間</p>

4 飛行場又はその施設の設置又は変更の事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分			影響要因 の区分	工 事 の 実 施			土地又は工作物 の存在及び供用		
				造成後の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	飛行場の存在	航空機の運航	飛行場の施設の供用
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物		○	○		○	○
			粉じん等		○	○			
		騒音	騒音		○	○		○	
		振動	振動		○	○			
	水環境	水質	水の汚れ						○
			水の濁り	○					
土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○			
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地				○		
	植物		重要な種及び群落				○		
	生態系		地域を特徴付ける生態系				○		
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び圍繞景観				○		
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○		
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○					

参考手法（飛行場又はその施設）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	航空機の運航	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 二酸化窒素の濃度の状況 ロ 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する測定方法 ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> <li>3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予測の基本的な方法 ブルーム式及びパフ式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 飛行場施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</li> </ol>



		<p>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p>	
	飛行場の施設の供用	<p>1 調査すべき情報 イ 二酸化窒素の濃度の状況 ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する測定方法 ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</p> <p>3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p>	<p>1 予測の基本的な方法 ブルーム式及びパフ式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 飛行場施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
粉じん等	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ</p>

		<p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5. 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえて予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握でき</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>

		る期間、時期及び時間帯	
	航空機の運航	<p>1 調査すべき情報 騒音の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（飛行場及びその施設の設置の事業にあつては騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を、飛行場及びその施設の変更の事業にあつては航空機騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律施行規則に規定する算定方法</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 飛行場の施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域にお</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る</p>

		ける振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	環境影響が最大となる時期
水の汚れ	飛行場の施設の供用	1 調査すべき情報 イ 河川にあっては生物化学的酸素要求量の状況（その調査時における流量の状況を含む。）、海域又は湖沼にあっては化学的酸素要求量の状況 ロ 流れの状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期	1 予測の基本的な方法 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析 2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 飛行場の施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期
水の濁り	造成等の工事	1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況（河川にあっては、その調査時における流量の状況を含む。） ロ 流れの状況 ハ 気象の状況 ニ 土質の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 地域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 地域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影	1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析 2 予測地域 調査地域のうち、地域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 地域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期

		<p>響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	
重要な地形及び地質	飛行場の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地形及び地質の概況</p> <p>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象飛行場設置等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	飛行場の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象飛行場設置等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	飛行場の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p>

		<p>の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象飛行場設置等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	飛行場の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象飛行場設置等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	飛行場の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	飛行場の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象飛行場設置等事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象飛行場設置等事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>

5 発電所の設置又は変更の事業

5-1 水力発電所

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用		
				造成後の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	地形変化及び施設の使用	貯水池の存在	河水の取水			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等		○	○						
		騒音	騒音		○	○						
		振動	振動		○	○						
	水環境	水質	水の汚れ					○	○			
			富栄養化					○				
			水の濁り	○				○				
			溶存酸素量					○				
			水素イオン濃度	○								
	水温					○						
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○	○				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地					○				
	植物		重要な種及び群落					○				
	生態系		地域を特徴付ける生態系					○				
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び囲繞景観					○				
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場			○	○	○	○			
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○								



参考手法（水力発電所）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報(騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報(振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予</p>

		<p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の汚れ	貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 水の汚れに係る項目の状況 ロ 流量の状況 ハ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水の汚れの予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 統計的な手法又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測値域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
	河水の取水	<p>1 調査すべき情報 イ 水の汚れに係る項目の状況 ロ 流量の状況 ハ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、河水の取水により水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間</p>	<p>1 予測の基本的な方法 単純混合式を用いた理論計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測値域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>

		及び時期	
富栄養化	貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 富栄養化に係る事項及びその調査時における流量の状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>ハ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の富栄養化の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>統計的手法、富栄養化に係る物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>流域の特性及び富栄養化に係る事項の変化の特性を踏まえ、予測地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水の濁り	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 濁度又は浮遊物質質量及びその調査時における流量の状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>

	貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 濁度又は浮遊物質質量及びその調査時における流量の状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>ハ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水の濁りの予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>浮遊物質の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
溶存酸素量	貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 溶存酸素量の状況</p> <p>ロ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（溶存酸素量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、溶存酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の溶存酸素量の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、調査地域における溶存酸素量に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、調査地域における溶存酸素量に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>溶存酸素の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、溶存酸素量に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>流域の特性及び溶存酸素量の変化の特性を踏まえ、予測地域における溶存酸素量に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水素イオン濃度	造成等工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 水素イオン濃度及びその調査時における流量の状況</p> <p>ロ 利水の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、流域の特性及</p>

		<p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（水素イオン濃度の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する水素イオン濃度の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水素イオン濃度の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、調査地域における水素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、調査地域における水素イオン濃度に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、水素イオン濃度に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水素イオン濃度の変化の特性を踏まえ、予測地域における水素イオン濃度に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 造成等の施行による水素イオン濃度に係る環境影響が最大となる時期</p>
水温	貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 水温及びその調査時における流量の状況 ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域並びに当該地域より上流の地域で当該地域の水温の予測及び評価に必要な情報を把握できる地域</p> <p>4 調査地点 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、調査地域における水温に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、調査地域における水温に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 熱の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水温の変化の特性を踏まえ、予測地域における水温に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	地形改変及び施設存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域に</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、</p>

		<p>における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	貯水池の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 貯水池及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	地形改変及び施設の存在、貯水池の存在並びに河水の取水	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物（水生生物を含む。）に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 イ 対象事業実施区域及びその周辺の区域 ロ 河水の取水により水生生物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 動物（水生生物を含む。）の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物（水生生物を含む。）の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	地形改変及び施設の存在、貯水池の	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について</p>

	存在並びに河水の取水	<p>び植生の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 対象事業実施区域及びその周辺の区域</li> <li>ロ 河水の取水により種子植物その他主な植物に係る環境影響が及ぶおそれがある地域</li> </ul> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>て、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	地形改変及び施設 の存在、貯水池の 存在並びに河水の 取水	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 動植物その他自然環境に係る概況</li> <li>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 対象事業実施区域及びその周辺の区域</li> <li>ロ 河水の取水により注目種等に係る環境影響が及ぶおそれがある地域</li> </ul> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び 圍繞景観	地形改変及び施設 の存在並びに貯水 池の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 主要な眺望景観の状況</li> <li>ロ 圍繞景観の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p>



		<p>測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予定される路線及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	<p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	<p>貯水池の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p>

		<p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 貯水池及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	河水の取水	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 河水の取水により人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響が及ぶおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>

5-2 火力発電所及び原子力発電所

表 環境影響評価項目の例

環境要素の区分			影響要因の区分			工 事 の 実 施			土 地 又 は 工 作 物 の 存 在 及 び 供 用						
						造成等の工事	建設機械の稼働	両資材及び機械の運搬に用いる車	地形改変及び施設の存在	施設の稼働				資材等の搬出入	廃棄物の発生
										排ガス	排水	温排水	機械等の稼働		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	硫酸化合物					○							
			窒素化合物		○	○		○				○			
			浮遊粒子状物質					○							
			石炭粉じん				○				○				
			粉じん等		○	○						○			
		騒音	騒音		○	○					○	○			
		振動	振動		○	○					○	○			
	水環境	水質	水の汚れ							○					
			富栄養化							○					
			水の濁り	○	○										
			水温								○				
		底質	有害物質		○										
		その他	流向及び流速				○				○				
その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○									
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く。)				○									
		海域に生息する動物				○			○						
	植物	重要な種及び群落(海域に生育するものを除く。)				○									
		海域に生育する植物				○			○						
	生態系	地域を特徴付ける生態系				○									
人と自然との豊かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び圍繞景観				○									
	人と自然との触れ合いの活動の場	重要な人と自然との触れ合いの活動の場			○	○					○				
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物産	○												
		産業廃棄物										○			
	温室効果ガス等	二酸化炭素					○								

参考手法（火力発電所及び原子力発電所）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
硫黄酸化物	施設の稼働（排ガス）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法                             <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況：環境基準に規定する硫黄酸化物に係る大気汚染についての測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ul> </li> <li>3 調査地域                             <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点                             <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における硫黄酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等                             <p>原則として1年間（気象の状況において、高層の気象を調査する場合は、春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間）</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法                             <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域                             <p>調査地域のうち、硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測対象時期等                             <p>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
窒素酸化物	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報                             <p>気象の状況</p> </li> <li>2 調査の基本的な手法                             <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法                             <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域                             <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等                             <p>建設機械の稼働による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期</p> </li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報                             <p>気象の状況</p> </li> <li>2 調査の基本的な手法                             <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法                             <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域                             <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点</li> </ol>

		<p>域</p> <p>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期</p>
	施設の稼働（排ガス）	<p>1 調査すべき情報 イ 二酸化窒素の濃度の状況 ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する測定の方法 ロ 気象の状況：気象業務法施行規則に規定する技術上の基準による測定の方法</p> <p>3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間（気象の状況において、高層の気象を調査する場合は、春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間）</p>	<p>1 予測の基本的な方法 プルーム式及びパフ式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
	資材等の搬出入	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 資材等の搬出入に用いる車両の運行による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期</p>
浮遊粒子状物質	施設の稼働（排ガス）	<p>1 調査すべき情報</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p>

	ス)	<p>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する測定方法</p> <p>ロ 気象の状況：気象業務法施行規則に規定する技術上の基準による測定の方法</p> <p>3 調査地域 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間(気象の状況において、高層の気象を調査する場合は、春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間)</p>	<p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
石炭粉じん	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 降下ばいじんの状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>イ 降下ばいじんの状況：デポジットゲージ又はダストジャーによる測定</p> <p>ロ 気象の状況：気象業務法施行規則に規定する技術上の基準による測定の方法</p> <p>3 調査地域 石炭粉じんの拡散の特性を踏まえ、石炭粉じんに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 石炭粉じんの拡散の特性を踏まえ、調査地域における石炭粉じんに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間</p>	<p>1 予測の基本的な方法 ブルーム式及びパフ式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、石炭粉じんの拡散の特性を踏まえ、石炭粉じんに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
	施設の稼働(機械 等の稼働)	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 降下ばいじんの状況</p> <p>ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>イ 降下ばいじんの状況；デポジットゲージ</p>	<p>1 予測の基本的な方法 ブルーム式及びパフ式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、石炭粉じんの拡散の特性を踏まえ、石炭粉じんに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p>

		<p>又はダストジャーによる測定</p> <p>ロ 気象の状況；気象業務法施行規則に規定する技術上の基準による測定の方法</p> <p>3 調査地域 石炭粉じんの拡散の特性を踏まえ、石炭粉じんに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 石炭粉じんの拡散の特性を踏まえ、調査地域における石炭粉じんに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間</p>	<p>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
粉じん等	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材等の搬出入	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある</p>

		<p>粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 資材等の搬出入に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価す</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>



		るために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
施設の稼働（機械等の稼働）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 地表面の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、環境基準において定められた騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</li> </ul> </li> </ol>	
資材等の搬出入	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 資材等の搬出入に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>資材等の搬出入に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ul> </li> </ol>	
振動	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>地盤の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>事例の引用又は解析</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影</li> </ul> </li> </ol>

	<p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
施設の稼働（機械等の稼働）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
資材等の搬出入	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影</p>

		<p>法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 資材等の搬出入に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の汚れ	施設の稼働（排水）	<p>1 調査すべき情報 化学的酸素要求量の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集（化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。）並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 化学的酸素要求量の拡散の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 化学的酸素要求量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 化学的酸素要求量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析</p> <p>2. 予測地域 調査地域のうち、化学的酸素要求量の拡散の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 化学的酸素要求量の拡散特性を踏まえ、予測値域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
富栄養化	施設の稼働（排水）	<p>1 調査すべき情報 イ 富栄養化に係る事項 ロ 流れの状況 ハ 水温の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、予測地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>

		<p>適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	
水の濁り	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報 浮遊物質量の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 浮遊物質量の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
水温	施設の稼働（温排水）	<p>1 調査すべき情報 イ 水温の状況 ロ 流況の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水温の拡散の特性及び流況特性を踏まえ、</p>	<p>1 予測の基本的な方法 数値モデルによる数値計算又は水理模型実験</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水温の拡散の特性及び流況特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>

		<p>水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域及び冷却水の放水口前面</p> <p>4 調査地点 水温の拡散の特性及び流況特性を踏まえ、調査地域における水温に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間</p>	<p>3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
有害物質	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 有害物質に係る底質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 しゅんせつ工事を行う区域</p> <p>4 調査地点 調査地域における底質の状況を把握するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として底質の状況を把握するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期に1回</p>	<p>1 予測の基本的な方法 有害物質に係る底質の状況を把握した上で、事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 有害物質の拡散の特性を踏まえ、建設機械の稼働による有害物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 有害物質の拡散の特性を踏まえ、予測値域における有害物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 しゅんせつ工事による有害物質に係る環境影響が最大となる時期</p>
流向及び流速	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 流況の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流況特性を踏まえ、流向及び流速に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 流況特性を踏まえ、調査地域における流向及び流速に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間</p>	<p>1 予測の基本的な方法 数値モデルによる理論計算又は水理模型実験</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流況特性を踏まえ、流向及び流速に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
	施設の稼働（温排水）	<p>1 調査すべき情報 流況の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 流況特性を踏まえ、流向及び流速に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 流況特性を踏まえ、調査地域における流向及び流速に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 原則として1年間</p>	<p>1 予測の基本的な方法 数値モデルによる理論計算又は水理模型実験</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、流況特性を踏まえ、流向及び流速に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況</p>	<p>1. 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</li> <li>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</li> </ul>	<p>分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</li> </ul>
重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く。）	地形改変及び施設の有存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物（海域に生息するものを除く。）に係る動物相の状況</li> <li>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</li> <li>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</li> <li>4 調査地点 動物（海域に生息するものを除く）の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</li> <li>5 調査期間等 動物（海域に生息するものを除く。）の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</li> </ul>
海域に生息する動物	地形改変及び施設の有存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 魚等の遊泳動物、潮間帯生物（動物）、底生生物（動物）、動物プランクトン、卵・稚仔（以下「海生動物」という。）の主な種類及び分布の状況</li> <li>ロ 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける動物の生息環境の状況</li> <li>ハ 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそ</li> </ul>

		<p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>れがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	施設の稼働（温排水）	<p>1 調査すべき情報 イ 海生動物の主な種類及び分布の状況 ロ 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける動物の生息環境の状況 ハ 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水温の拡散の特性及び流況特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域及び及び冷却水の放水口前面</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 海生生物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落（海域に生息するものを除く。）	地形変化及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路 5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
海域に生息する植物	地形改変及び施設 の存在	1 調査すべき情報 イ 潮間帯生物（植物）、海藻草類及び植物プランクトン（以下「海生植物」という。）の主な種類及び分布の状況 ロ 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける植物の生育環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域 4 調査地点 植物の生育の特性を踏まえ、調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路 5 調査期間等 植物の生育の特性を踏まえ、調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な方法 海生植物及び干潟、藻場、さんご礁について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育の特性を踏まえ、海生植物及び干潟、藻場、サンゴ礁における植物の生育環境に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 植物の生育の特性を踏まえ、海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を的確に把握できる時期
	施設の稼働（温排水）	1 調査すべき情報 イ 海生植物の主な種類及び分布の状況 ロ 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける植物の生育環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 水温の拡散の特性及び流況特性を踏まえ、水温に係る環境影響を受けるおそれがある地域及び及び冷却水の放水口前面 4 調査地点 植物の生育の特性を踏まえ、調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路 5 調査期間等 植物の生育の特性を踏まえ、調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な方法 海生植物及び干潟、藻場、さんご礁について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育の特性を踏まえ、海生植物及び干潟、藻場、サンゴ礁における植物の生育環境に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 植物の生育の特性を踏まえ、海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を的確に把握できる時期
地域を特徴づける生態系	地形改変及び施設 の存在	1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況	1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息



		<p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予定される路線及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	資材等の搬出入	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>資材等の搬出入に用いる車両の運行が予定される路線及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う 副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>
産業廃棄物	廃棄物の発生		<p>1 予測の基本的な方法</p>

			産業廃棄物の種類ごとの発生の状況の把握 2 予測地域 対象事業実施区域 3 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期
二酸化炭素	施設の稼働（排ガス）		1 予測の基本的な方法 施設の稼働に伴い発生する二酸化炭素の排出の状況の把握 2 予測地域 対象事業実施区域 3 予測対象時期又は時間帯 等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期

5-3 風力発電所

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分			影響要因 の区分	工 事 の 実 施			土地又は工作物の 存在及び供用	
				資材及び機械の 運搬に用 いる車両の運行	建設機械の稼働	造成等の施工による一時 的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○			
			粉じん等	○	○			
		騒音及び超低周波音	騒音及び超低周波音	○	○			○
		振動	振動	○	○			
	水環境	水質	水の濁り		○	○		
		底質	有害物質		○			
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○	
		その他	風車の影					○
			日照障害				○	
			電波障害				○	
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地 (海域に生息するものを除く。)				○	○	
		海域に生息する動物				○	○	
	植物	重要な種及び群落 (海域に生育するものを除く。)				○	○	
		海域に生育する植物				○	○	
	生態系	地域を特徴付ける生態系				○	○	
人と自然との豊かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び圍繞景観					○	
	人と自然との触れ合いの活動の場	重要な人と自然との触れ合いの活動の場		○			○	
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物				○		
		産業廃棄物				○		

参考手法（風力発電所）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用資材等の搬出入に用いる車両の運行による窒素酸化物に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による窒素酸化物による環境影響は最大となる時期</li> </ol>
粉じん等	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために適必要な情報を切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用資材等の搬出入に用いる車両の運行による粉じん等による</li> </ol>

		における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期	環境影響が最大となる時期
	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等による環境影響は最大となる時期</li> </ol>
騒音・超低周波音	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 道路交通騒音の状況 ロ 沿道の状況 ハ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ol>

		<p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音・超低周波音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	施設の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音・超低周波音の状況 ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音・超低周波音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音・超低周波音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音・超低周波音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音・超低周波音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音・超低周波音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
振動	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>

	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 地盤の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
水の濁り	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 浮遊物質量の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	造成等の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 浮遊物質量の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 流域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>



		浮遊物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期	
有害物質	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 有害物質に係る底質の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 しゅんせつ工事を行う区域</li> <li>調査地点 調査地域における底質の状況を把握するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 原則として底質の状況を把握するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期に1回</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 有害物質に係る底質の状況を把握した上で、事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 有害物質の拡散の特性を踏まえ、建設機械の稼働による有害物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 有害物質の拡散の特性を踏まえ、予測地域における有害物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 しゅんせつ工事による有害物質に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
重要な地形及び地質	地形改変及び施設 の存在	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</li> <li>調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</li> </ol>
風車の影	施設の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 土地利用の状況 ロ 地形の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</li> <li>調査地域 土地利用の状況及び地形の特性を踏まえ、風車の影に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</li> <li>調査地点 土地利用の状況及び地形の特性を踏まえ、調査地域における風車の影に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を的確かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握することができる時期</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な手法 等時間の日影線を描いた日影図の作成</li> <li>予測地域 調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえ、風車の影に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</li> <li>予測地点 土地利用及び地形の特性を踏まえ、予測地域における風車の影に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 風力発電所の運転が定常状態となる時期であり、風車の影に係る環境影響は最大になる時期</li> </ol>

日照障害	施設の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 土地利用の状況</p> <p>ロ 地形の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>3 調査地域</p> <p>土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照障害に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査期間等</p> <p>土地利用の状況及び地形の状況を適切に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>等時間の日影線を描いた日影図の作成</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、土地利用及び地形の特性を踏まえ、日照障害に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>土地利用及び地形の状況を踏まえ、予測地域における日照障害に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>風力発電所の設置が完了する時期であり、日影に係る環境影響が最大となる時期</p>
電波障害	施設の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 電波の発信状況</p> <p>ロ 電波の受信状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>電波の伝搬の特性を踏まえ、電波受信に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>電波の伝搬の特性を踏まえ、前号の調査地域における電波受信に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>電波の伝搬の特性を踏まえ、第三号の調査地域における電波受信に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>実用式によるコンピュータ・シミュレーション又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、電波の伝搬の特性を踏まえ、電波受信に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>電波の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における電波受信に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>風力発電所の運転が定常状態であり、電波受信に係る影響を適切に予測できる時期</p>
	施設の稼働		
重要な種及び注目すべき生息地 (海域に生息するものを除く。)	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物(海域に生息するものを除く。)の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	地形改変及び施設の存在		
	施設の稼働		
海域に生息する動物	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 魚等の遊泳動物、潮間帯生物(動物)、</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>海生生物及び干潟、藻場、さん</p>

	<p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>底生生物（動物）、動物プランクトン、卵・稚仔（以下「海生動物」という。）の主な種類及び分布の状況</p> <p>ロ 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける動物の生息環境の状況</p> <p>ハ 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>ご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>重要な種及び群落（海域に生息するものを除く。）</p>	<p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>海域に生息する植物</p>	<p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 潮間帯生物（植物）、海藻草類及び植物プランクトン（以下「海生植物」という。）の主な種類及び分布の状況</p> <p>ロ 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける植物の生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>海生植物及び干潟、藻場、さんご礁について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育の特性を踏まえ、海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育</p>

		<p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育の特性を踏まえ、調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育の特性を踏まえ、調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>環境に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育の特性を踏まえ、海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ抱その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況  ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予定される路線及びその周辺の区域  4 調査地点  人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点  5 調査期間等  人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	<p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況  ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象事業実施区域  4 調査地点  人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点  5 調査期間等  人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>造成等の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法  建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握  2 予測地域  対象事業実施区域  3 予測対象時期等  工事期間</p>
<p>産業廃棄物</p>	<p>造成等の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法  産業廃棄物の種類ごとの発生の状況の把握  2 予測地域  対象事業実施区域  3 予測対象時期等</p>

			工事期間
--	--	--	------

5-4 太陽光発電所

表 環境影響評価項目の例

環境要素の区分				影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用		
				造成等の工事	建設機械の稼働	車両の運行	資材及び機械の運搬に用いる	地形変化及び施設の使用	施設の稼働	太陽光パネル等の撤去・廃棄		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等		○	○						
		騒音	騒音		○	○			○			
		振動	振動		○	○			○			
	水環境	水質	水の汚れ					○				
			水の濁り		○			○				
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質		○				○		○	
		地盤	土地の安定性		○				○			
		土壌	土壌汚染		○				○			
		その他	反射光						○			
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地		○				○		○	
植物		重要な種及び群落		○				○		○		
生態系		地域を特徴付ける生態系		○				○		○		
人と自然との豊かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び圍繞景観						○		○		
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○				○		○		
	地域及び文化	地域の成り立ちと地域文化						○				
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物		○								
		産業廃棄物		○						○		
	温室効果ガス							○	○			

参考手法（太陽光発電所）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 (1) 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期 (2) 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 (1) 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期 (2) 施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 (1) 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期 (2) 施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</li> </ol>
	施設の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ol>



		<p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 (1) 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期 (2) 施設の稼働が定常状態にあり、適切に予測できる時期</p>
	施設の稼働		
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>

水の汚れ	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 河川にあっては生物化学的酸素要求量の状況、農薬の濃度の状況、海域又は湖沼にあっては化学的酸素要求量の状況</p> <p>ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>イ 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>ロ 農薬の濃度に関する事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>農薬散布時など、適切に予測できる時期</p>
水の濁り	造成等の工事  地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 濁度又は浮遊物質量及びその調査時における流量の状況</p> <p>ロ 流れの状況</p> <p>ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>(1) 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p> <p>(2) 施設が設置された後、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	造成等の工事  地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地形及び地質の概況</p> <p>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるお</p>

	太陽光パネル等の撤去・廃棄	<p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>それがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>(1) 工事による地形及び地質に係る環境影響が最大となる時期</p> <p>(2) 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p> <p>(3) 太陽光パネル等の撤去による重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
土地の安定性	<p>造成等の工事</p> <p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 土地の安定性の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 土地の特性を踏まえ、調査地域における土地の安定性に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点</p> <p>5 調査期間等 土地の特性を踏まえ、調査地域における土地の安定性に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 土地の安定性について、表層土壌地質の改変の程度を把握した上で、斜面安定解析等の土質工学的な手法</p> <p>2 予測地域 土地の特性を踏まえ、土地の安定性に係る環境影響を受けるおそれがある地域として調査地域に準ずる</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>(1) 地形改変による土地の安定性に係る環境影響が最大となる時期</p> <p>(2) 施設の稼働後に、気象条件等により土地の安定性に变化が起きやすいと考えられる時期</p>
土壌汚染	<p>造成等の工事</p> <p>地形改変及び施設 の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 土壌汚染の状況 ロ 地質の状況 ハ 地下水の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地質の特性及び地下水の流れの特性を踏まえ、調査地域における土壌汚染に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地質の特性及び地下水の流れの特性を踏まえ、調査地域における土壌汚染に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地質の特性及び地下水の流れの特性を踏まえ、土壌汚染に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>(1) 工事による土壌汚染に係る環境影響が最大となる時期</p> <p>(2) 施設の稼働後に、農薬散布や施設更新時など、土壌汚染に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
反射光	地形改変及び施設 の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 土地の利用状況 ロ 地形の状況 ハ 地域における照明環境等の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、土地の利用状況及び地形の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>

		<p>3 調査地域 土地の利用状況及び地形の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 土地の利用状況及び地形の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 土地の利用状況及び地形の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>3 予測対象時期等 施設の稼働後に、夏至、春分・秋分、冬至の日を基本に設定</p>
重要な種及び注目すべき生息地	<p>造成等の工事</p> <p>地形改変及び施設 の存在</p> <p>太陽光パネル等 の撤去・廃棄</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 (1) 工事による重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響が最大となる時期 (2) 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期 (3) 太陽光パネル等の撤去や撤去後の緑化等による重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	<p>造成等の工事</p> <p>地形改変及び施設 の存在</p> <p>太陽光パネル等 の撤去・廃棄</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 (1) 工事による重要な種及び群落に係る環境影響が最大となる時期 (2) 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握で</p>

		地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	きる時期 (3) 太陽光パネル等の撤去や撤去後の緑化等による重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期
地域を特徴づける生態系	造成等の工事  地形改変及び施設の存在  太陽光パネル等の撤去・廃棄	1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域 4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路 5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 (1) 工事による注目種等に係る環境影響が最大となる時期 (2) 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期 (3) 太陽光パネル等の撤去や撤去後の緑化等による注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期
眺望景観及び圍繞景観	地形改変及び施設の存在  太陽光パネル等の撤去・廃棄	1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域 4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 (1) 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期 (2) 太陽光パネル等の撤去や撤去後の緑化等による主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	造成等の工事  地形改変及び施設の存在  太陽光パネル等の撤去・廃棄	1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域	1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受け

		<p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>るおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域の成り立ちと地域文化	地形改変及び施設存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地域社会の状況 ロ 歴史的文化的資源の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析（必要に応じ関係市町、教育委員会、学識経験者等から聴取し、指導又は助言を受けるものとする。）</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 調査地域における地域社会や歴史的文化的資源に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 調査地域における地域社会や歴史的文化的資源に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地域社会や歴史的文化的資源に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 調査地域における地域社会や歴史的文化的資源に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>
産業廃棄物	<p>造成等の工事</p> <p>太陽光パネル等の撤去・廃棄</p>		<p>1 予測の基本的な方法 産業廃棄物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 (1) 工事期間 (2) 太陽光パネル等の更新時期など、産業廃棄物の発生が最大となる時期</p>
温室効果ガス	<p>造成等の工事</p> <p>施設の稼働</p>		<p>1 予測の基本的な方法 温室効果ガスの排出量と削減量の把握</p> <p>2 予測地域 対象事業実施区域</p>

			<p>3 予測対象時期等</p> <p>(1) 工事による温室効果ガス固定量の減少等を的確に把握できる時期</p> <p>(2) 施設の稼働後に、運転が定常状態となる時期</p>
--	--	--	---

6 廃棄物処理施設の設置又は変更の事業

6-1 ごみ焼却場

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分			工 事 の 実 施			土地又は工作物の存在及び供用				
				造成等の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	敷地の存在（土地の改変）	構造物の存在	ごみの搬入	ごみ焼却場の稼働				
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物										○	
			硫黄酸化物											○
			浮遊粒子状物質											○
			有機塩素化合物類											○
			粉じん等		○	○					○			
		騒音	騒音		○	○								
		振動	振動		○	○								
		悪臭	悪臭										○	
		水環境	水質	水の濁り	○									
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○							
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地				○							
	植物		重要な種及び群落				○							
	生態系		地域を特徴付ける生態系				○							
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び圍繞景観				○	○						
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○	○						
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○										
			廃棄物（焼却灰）										○	
	温室効果ガス等		二酸化炭素										○	



参考手法（ごみ焼却場）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	ごみ焼却場の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する二酸化窒素の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
硫黄酸化物	ごみ焼却場の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する二酸化硫黄の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における硫黄酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における硫黄酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
浮遊粒子状物質	ごみ焼却場の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒</p> </li> </ol>

		<p>定める方法とする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する浮遊粒子状物質の測定の方法</p> <p>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</p> <p>3 調査地域 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p>	<p>子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、予測地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
有機塩素化合物類	ごみ焼却場の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 有機塩素化合物類の拡散の特性を踏まえ、有機塩素化合物類に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 有機塩素化合物類の拡散の特性を踏まえ、調査地域における有機塩素化合物類に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 有機塩素化合物類の拡散の特性を踏まえ、調査地域における有機塩素化合物類に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、有機塩素化合物類の拡散の特性を踏まえ、有機塩素化合物類に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 有機塩素化合物類の拡散の特性を踏まえ、予測地域における有機塩素化合物類に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
粉じん等	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>

	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報          気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法          文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法          事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域          調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等          工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	<p>ごみの搬入</p>	<p>1 調査すべき情報          気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法          文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法          事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域          調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点          粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等          ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
<p>騒音</p>	<p>建設機械の稼働</p>	<p>1 調査すべき情報          イ 騒音の状況          ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法          文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域          音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点          音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等          音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域におけ</p>	<p>1 予測の基本的な方法          音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域          調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点          音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等          建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>

		<p>る騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p>

		<p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
悪臭	ごみ焼却場の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 悪臭の状況 ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（臭気指数については、悪臭防止法施行規則の規定により環境庁長官が定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 悪臭の拡散の特性を踏まえ、調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、予測地域における悪臭に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水の濁り	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質の状況（河川にあっては、その調査時における流量の状況を含む。） ロ 流れの状況 ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>

		響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期	
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 地形及び地質の概況</p> <p>ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象ごみ焼却場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象ごみ焼却場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそ</p>

		<p>3 調査地域 対象ごみ焼却場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>れがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象ごみ焼却場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	<p>敷地の存在（土地の改変）</p> <p>構造物の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>敷地の存在（土地の改変） 構造物の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象ごみ焼却場事業実施区域及びその周辺の区域 4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>造成等の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握 2 予測地域 対象ごみ焼却場事業実施区域 3 予測対象時期等 工事期間</p>
<p>廃棄物（焼却灰）</p>	<p>ごみ焼却場の稼働</p>		<p>1 予測の基本的な方法 焼却灰の発生の状況の把握 2 予測地域 対象ごみ焼却場事業実施区域 3 予測対象時期等 ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
<p>二酸化炭素</p>	<p>ごみ焼却場の稼働</p>		<p>1 予測の基本的な方法 ごみ焼却場の稼働に伴い発生する二酸化炭素の排出の状況の把握 2 予測地域 対象ごみ焼却場事業実施区域 3 予測対象時期等 ごみ焼却場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>



6-2 し尿処理施設

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分			工 事 の 実 施			土地又は工作物 の存在及び供用			
				造成等の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	敷地の存在（土地の改変）	構造物の存在	し尿の搬入	し尿処理施設の供用			
環境の自然的 構成要素の良 好な状態の保 持	大気環境	大気質	粉じん等		○	○			○				
		騒音	騒音		○	○							
		振動	振動		○	○							
		悪臭	悪臭								○		
	水環境	水質	水の濁り		○								
			水の汚れ									○	
			富栄養化									○	
土壌に係る環境・ その他の環境	地形及び 地質	重要な地形及び地質					○						
生物の多様性 の確保及び自然 環境の体系的保 全	動物		重要な種及び注目す べき生息地					○					
	植物		重要な種及び群落					○					
	生態系		地域を特徴付ける生 態系					○					
人と自然との 豊かな触れ合 い	景観		主要な眺望景観及び 囲繞景観					○	○				
	人と自然との触れ合いの活 動の場		重要な人と自然との 触れ合いの活動の場					○	○				
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産 物	○									
			廃棄物（汚泥）								○		

参考手法（し尿処理施設）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	し尿の搬入	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 し尿処理施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</li> </ol>

騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するた</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえて予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p>

		めに必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期	建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがあると地域 4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算 2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期
悪臭	し尿処理施設の供用	1 調査すべき情報 イ 悪臭の状況 ロ 気象の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（臭気指数については、悪臭防止法施行規則の規定により環境庁長官が定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 悪臭の拡散の特性を踏まえて調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 悪臭の拡散の特性を踏まえて調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯	1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、予測地域における悪臭に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 し尿処理施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期
水の濁り	造成等の工事	1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況(河川にあっては、その調査時における流量の状況を含む。) ロ 流れの状況 ハ 土質の状況	1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析 2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、

		<p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
水の汚れ	し尿処理施設の供用	<p>1 調査すべき情報 イ 河川にあつては生物化学的酸素要求量の状況（その調査時における流量の状況を含む。）、海域又は湖沼にあつては化学的酸素要求量の状況 ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 し尿処理施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
富栄養化	し尿処理施設の供用	<p>1 調査すべき情報 イ 富栄養化に係る事項及びその調査時における流量の状況 ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法 統計的手法、富栄養化に係る物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p>

		<p>3 調査地域 水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、予測地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 し尿処理施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象し尿処理施設事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象し尿処理施設事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象し尿処理施設事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 動植物その他自然環境に係る概況</p> <p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象し尿処理施設事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 主要な眺望景観の状況</p> <p>ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>
	構造物の存在		

		<p>な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）</p> <p>構造物の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象し尿処理施設事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>造成等の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象し尿処理施設事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>
<p>廃棄物（汚泥）</p>	<p>し尿処理施設の供用</p>		<p>1 予測の基本的な方法 汚泥の発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象し尿処理施設事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 し尿処理施設の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>



6-3 廃棄物最終処分場

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分			工事の 実施	土地又は工作物 の存在及び供用	
				工事 の 最 終 処 分 場 の 設 置	最 終 処 分 場 の 存 在	廃 棄 物 の 埋 立 て			
環境の自然的構成 要素の良好な状態 の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物			○			
			粉じん等	○		○			
		騒音	騒音	○		○			
		振動	振動	○		○			
		悪臭	悪臭			○			
	水環境	水質	水の汚れ			○			
			水の濁り	○		○			
土壌に係る環境・ その他の環境	地形及び 地質	重要な地形及び地質		○					
生物の多様性の確保 及び自然環境の 体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき 生息地	○		○			
	植物		重要な種及び群落	○		○			
	生態系		地域を特徴付ける生態系	○		○			
人と自然との豊かな 触れ合い	景観		主要な眺望景観及び 囲繞景観		○				
	人と自然との触れ合いの 活動の場		重要な人と自然との 触れ合いの活動の場	○		○			
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○					

参考手法（廃棄物最終処分場）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	廃棄物の埋立	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法                             <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（二酸化窒素の状況については、二酸化窒素に係る環境基準に規定する二酸化窒素の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法                             <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域                             <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点                             <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等                             <p>廃棄物最終処分場の埋立てが定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
粉じん等	最終処分場の設置の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 粉じん等の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法                             <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法                             <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域                             <p>調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等                             <p>工事による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p> </li> </ol>
	産業廃棄物の埋立て	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 粉じん等の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法                             <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法                             <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域                             <p>調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点                             <p>粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等                             <p>廃棄物最終処分場の埋立てが定</p> </li> </ol>

		し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	常状態であり、適切に予測できる時期
騒音	最終処分場の設置の工事	1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況 ハ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算 2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 工事による騒音に係る環境影響が最大となる時期
	廃棄物の埋立て	1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況 ハ 廃棄物の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（廃棄物の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握でき	1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算 2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 廃棄物最終処分場の埋立てが定常状態であり、適切に予測できる時期

		る期間、時期及び時間帯	
振動	最終処分場設置の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する振動の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>イ 建設機械の稼働については、事例の引用又は解析</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行については、振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	廃棄物の埋立て	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 廃棄物の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（廃棄物の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>イ 廃棄物の埋立てに用いる機械の稼働については、事例の引用又は解析</p> <p>ロ 廃棄物の運搬に用いる車両の運行については、振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>廃棄物最終処分場の埋立てが定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
悪臭	廃棄物の埋立て	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 悪臭の状況</p> <p>ロ 気象の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p>

		<p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（臭気指数については、悪臭防止法施行規則の規定により環境庁長官が定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 悪臭の拡散の特性を踏まえ、調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯</p>	<p>調査地域のうち、悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、予測地域における悪臭に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 廃棄物最終処分場の埋立てが定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水の汚れ	最終処分場の存在、廃棄物の埋立て	<p>1 調査すべき情報 イ 河川にあつては生物化学的酸素要求量の状況（その調査時における流量の状況を含む。）、海域又は湖沼にあつては化学的酸素要求量の状況 ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測値域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 廃棄物最終処分場の埋立てが定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水の濁り	最終処分場の設置の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況（河川にあつては、その調査時における流量の状況を含む。） ロ 流れの状況 ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における</p>

		<p>を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
	廃棄物の埋立て	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況(河川にあっては、その調査時における流量の状況を含む。) ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 浮遊物質の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 廃棄物最終処分場の埋立てが定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	最終処分場の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象最終処分場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>5 調査期間等</p> <p>地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	
重要な種及び注目すべき生息地	最終処分場の設置の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況</p> <p>ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象最終処分場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期及び時間帯</p>
	最終処分場の存在、廃棄物の埋立て		
重要な種及び群落	最終処分場の設置の工事	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 河川又は湖沼にあっては種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況、海域にあっては海藻類その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象最終処分場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	最終処分場の存在、廃棄物の埋立て		
地域を特徴づけ	最終処分場の設置	<p>1 調査すべき情報</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p>

<p>る生態系</p>	<p>の工事 最終処分場の存在、廃棄物の埋立て</p>	<p>イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象最終処分場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>眺望景観及び 周囲景観</p>	<p>最終処分場の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 周囲景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び周囲景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び周囲景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との 触れ合いの活動の場</p>	<p>最終処分場の設置の工事 最終処分場の存在、廃棄物の埋立て</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象最終処分場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響</p>



		<p>的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>最終処分場の設置の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象最終処分場事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>

7 工場又は事業場の新築又は改築の事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分			影響要因 の区分	工 事 の 実 施			土地又は工作物の存在及び供用		
				造成等の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	敷地の存在（土地の改変）	構造物の存在	工場・事業場の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物						○
			硫黄酸化物						○
			浮遊粒子状物質						○
			粉じん等		○	○			
		騒音	騒音		○	○			○
		振動	振動		○	○			
	水環境	水質	水の濁り	○					
			水の汚れ						○
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○		
	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地				○	
植物		重要な種及び群落				○			
生態系		地域を特徴付ける生態系				○			
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観				○	○	
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○	○	
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○					

参考手法（工場・事業場）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	工場・事業場の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する二酸化窒素の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
硫黄酸化物	工場・事業場の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況；大気汚染に係る環境基準に規定する二酸化硫黄の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における硫黄酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における硫黄酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
浮遊粒子状物質	工場・事業場の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子</p> </li> </ol>

		<p>める方法とする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する浮遊粒子状物質の測定の方法</p> <p>ロ 風の状況；気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</p> <p>3 調査地域 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p>	<p>状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、予測地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
粉じん等	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式に</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロ 地表面の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よる計算</li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ul> </li> </ul>
資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> </ul> </li> <li>2. 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ul> </li> </ul>
工場・事業場の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 地表面の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等</li> </ul>

		<p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量及びその調査時における流量の状況 ロ 流れの状況 ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるお</p>

		<p>文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>それがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
水の汚れ	工場・事業場の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 河川にあつては生物化学的酸素要求量の状況（その調査時における流量の状況を含む。）、海域又は湖沼にあつては化学的酸素要求量の状況 ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれが</p>

		<p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>ある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>



		帯	
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 動植物その他自然環境に係る概況</p> <p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び周囲景観	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 主要な眺望景観の状況</p> <p>ロ 周囲景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>主要な眺望景観の状況及び周囲景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び周囲景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	構造物の存在		
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然と</p>
	構造物の存在		

		<p>的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>の触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>造成等の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>

8 下水道終末処理場の設置又は変更の事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分			工事の 実施			土地又は工作物 の存在及び供用		
				造成等の 工事	建設機械の 稼働	資材及び機械の 運搬に用いる 車両の運行	敷地の存在 (土地の改変)	構造物の存在	下水道終末 処理場の稼働			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等		○	○						
		騒音	騒音		○	○						
		振動	振動		○	○						
		悪臭	悪臭							○		
	水環境	水質	水の濁り		○							
			水の汚れ								○	
			富栄養化								○	
壤に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○						
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物	重要な種及び注目すべき生息地				○						
	植物	重要な種及び群落				○						
	生態系	地域を特徴付ける生態系				○						
人と自然との豊かな触れ合い	景観	主要な眺望景観及び圍繞景観				○	○					
	人と自然との触れ合いの活動の場	重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○	○					
環境への負荷	廃棄物等	建設工事に伴う副産物		○								
		廃棄物 (汚泥)							○			

参考手法（下水道終末処理場）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予</p>

		<p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
悪臭	下水道終末処理場の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 悪臭の状況 ロ 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（臭気指数については、悪臭防止法施行規則の規定により環境庁長官が定める方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 悪臭の拡散の特性を踏まえ、調査地域における悪臭に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期又は時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、悪臭の拡散の特性を踏まえ、悪臭に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 悪臭の拡散の特性を踏まえ、予測地域における悪臭に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 下水道終末処理場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水の濁り	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量及びその調査時における流量の状況 ロ 流れの状況 ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>

		<p>水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	
水の汚れ	下水道終末処理場の稼働	<p>1 調査すべき情報  イ 河川にあつては生物化学的酸素要求量の状況（その調査時における流量の状況を含む。）、海域又は湖沼にあつては化学的酸素要求量の状況  ロ 流れの状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報（生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域  4 調査地点  水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点  5 調査期間等  水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法  生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析  2 予測地域  調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測地点  水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測値域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点  4 予測対象時期等  下水道終末処理場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
富栄養化	下水道終末処理場の稼働	<p>1 調査すべき情報  イ 富栄養化に係る事項及びその調査時における流量の状況  ロ 流れの状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報（富栄養化に係る事項のうち、水質汚濁に係る環境基準のあるものの状況については、当該環境基準に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえて富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域  4 調査地点  水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえて調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点  5 調査期間等  水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、調査地域における富栄養化に係る環境影響を予測し、及び評価するために必</p>	<p>1 予測の基本的な方法  統計的手法、富栄養化に係る物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析  2 予測地域  調査地域のうち、水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、富栄養化に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測地点  水域の特性及び富栄養化に係る事項の拡散の特性を踏まえ、予測地域における富栄養化に係る環境影響を的確に把握できる地点  4 予測対象時期等  下水道終末処理場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>

		<p>要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	
<p>重要な地形及び地質</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 地形及び地質の概況  ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象下水道終末処理場事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点  5 調査期間等  地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法  重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>重要な種及び注目すべき生息地</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況  ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況  ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象下水道終末処理場事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路  5 調査期間等  動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期及び時間帯</p>
<p>重要な種及び群落</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 河川又は湖沼にあっては種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況、海域にあっては海藻類その他主な植物に係る植物相及び植生の状況  ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法  植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及</p>



		<p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象下水道終末処理場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象下水道終末処理場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び囲繞景観	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 囲繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び囲繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を予</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び囲繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び囲繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
	構造物の存在		

		測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	敷地の存在（土地の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象下水道終末処理場事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象下水道終末処理場事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>
廃棄物（汚泥）	下水道終末処理場の稼働		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>汚泥の発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象下水道終末処理場事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>下水道終末処理場の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>

9 スポーツ又はレクリエーション施設の設置若しくは変更又はその用地の造成の事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素の区分 影響要因の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
				造成等の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	敷地の存在（土地の改変）	構造物の存在	施設の供用	行
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物							○
			浮遊粒子状物質							○
			粉じん等		○	○				
		騒音	騒音		○	○				○
		振動	振動		○	○				○
	水環境	水質	水の濁り	○						
			水の汚れ						○	
土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地				○			
	植物		重要な種及び群落				○			
	生態系		地域を特徴付ける生態系				○			
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び囲繞景観				○	○		
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○	○		
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○						

参考手法（ｽﾎﾟｰﾂ・レクリエーション施設）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	施設利用に伴う車両の走行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する二酸化窒素の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>施設の利用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
浮遊粒子状物質	施設の利用	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する浮遊粒子状物質の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、予測地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>施設の利用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
粉じん等	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <p>気象の状況</p> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> </li> <li>3 調査地域</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>事例の引用又は解析</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> </ol>

		<p>粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p>

		<p>両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
施設利用に伴う車両の走行	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 施設利用に伴い発生する車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ 調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 施設の利用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>	
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>

		<p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算 2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	施設利用に伴う車両の走行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点 5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算 2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 施設の利用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
水の濁り	造成等の工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質質量及びその調査時における流量の状況 ロ 流れの状況 ハ 土質の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>

		<p>(浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 造成等の施行による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
水の汚れ	施設の供用	<p>1 調査すべき情報 イ 河川にあつては生物化学的酸素要求量の状況(その調査時における流量の状況を含む。)、海域又は湖沼にあつては化学的酸素要求量の状況 ロ 流れの状況 ハ その他水の汚れに係る項目の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 イ 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析 ロ その他水の汚れに係る項目については、事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 施設の利用が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在(土地の改変)	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>



		<p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>地域を特徴づける生態系</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 動植物その他自然環境に係る概況  ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路  5 調査期間等  動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>眺望景観及び圍繞景観</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）  構造物の存在</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 主要な眺望景観の状況  ロ 圍繞景観の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域  4 調査地点  景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点  5 調査期間等  景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法  主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）  構造物の存在</p>	<p>1 調査すべき情報  イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況  ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況  2 調査の基本的な手法  文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析  3 調査地域  対象事業実施区域及びその周辺の区域  4 調査地点  人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p>	<p>1 予測の基本的な方法  主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析  2 予測地域  調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域  3 予測対象時期等  人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響</p>

		<p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>造成等の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生状況の把握</p> <p>2. 予測地域 対象事業実施区域</p> <p>3. 予測対象時期等 工事期間</p>

10 水面の埋立て又は干拓の事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分		工 事 の 実 施		土地又は工作物 の存在及び供用
				堤防及び護岸の工事	埋立ての工事			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等	○				
		騒音	騒音	○				
		振動	振動	○				
	水環境	水質	水の汚れ				○	
			水の濁り		○			
土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地	○			○	
	植物		重要な種及び群落	○			○	
	生態系		地域を特徴付ける生態系	○			○	
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観				○	
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場	○			○	
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○				

※「水面の埋立て又は干拓の事業」に係る環境影響評価については、公有水面の埋立地又は干拓地において行われることが予定される事業活動その他の人の活動に伴って生じる影響は含まない。

参考手法（埋立て・干拓）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報  <ul style="list-style-type: none"> <li>気象の状況</li> </ul> </li> <li>調査の基本的な手法                      文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析                 </li> <li>調査地域                      粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域                 </li> <li>調査地点                      粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点                 </li> <li>調査期間等                      粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯                 </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法                      事例の引用又は解析</li> <li>予測地域                      調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点                      粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等                      工事による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報  <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 地表面の状況</li> <li>ハ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> </ul> </li> <li>調査の基本的な手法                      文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析                 </li> <li>調査地域                      音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域                 </li> <li>調査地点                      音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点                 </li> <li>調査期間等                      音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯                 </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法                      音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域                      調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点                      音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等                      工事による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
振動	堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報  <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況</li> <li>ロ 地盤の状況</li> </ul> </li> <li>調査の基本的な手法                      文献その他の資料及び現地調査による情報（工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道における振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する振動の測定の方法を用い</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法  <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 建設機械の稼働に係る振動については、事例の引用又は解析</li> <li>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動については、振動レベルの80%レンジの上端値を予測するための式を用いた計算</li> </ul> </li> <li>予測地域                      調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響</li> </ol>

		<p>られたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の汚れ	埋立て地又は干拓地の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 河川にあっては生物化学的酸素要求量の状況(その調査時における流量の状況を含む。)、海域又は湖沼にあっては化学的酸素要求量の状況 ロ 流れの状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の汚れに係る環境影響予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、水の汚れに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の汚れの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の汚れに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 埋立てにあっては護岸の工事及び埋立ての工事、干拓にあっては干拓の工事が竣工した時期</p>
水の濁り	堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況(河川にあってはその調査時の流量の状況を含む。) ロ 流れの状況 ハ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象埋立て又は干拓事業実施区域及びその周辺の区域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事に伴う土砂による水の濁り</p>

		<p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	に係る環境影響が最大となる時期
重要な地形及び地質	埋立て地又は干拓地の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象埋立て又は干拓事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	<p>堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事</p> <p>埋立て地又は干拓地の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 鳥類その他主な陸生動物及び主な水生動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象埋立て又は干拓事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

<p>重要な種及び群落</p>	<p>堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事</p> <p>埋立て地又は干拓地の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 河川又は湖沼にあっては種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況、海域にあっては海藻類その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</p> <p>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象埋立て又は干拓事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>地域を特徴づける生態系</p>	<p>堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事</p> <p>埋立て地又は干拓地の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 動植物その他自然環境に係る概況</p> <p>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象埋立て又は干拓事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>



		<p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	埋立て地又は干拓地の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	<p>堤防及び護岸の工事並びに埋立ての工事</p> <p>埋立て地又は干拓地の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象埋立て又は干拓事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う副産物	堤防及び護岸の工事並びに埋立ての		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごと</p>

	工事		の発生の状況の把握 2 予測地域 対象埋立て又は干拓事業実施区域 3. 予測対象時期等 工事期間
--	----	--	--

11 土地区画整理事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分				工事の実施				土地又は工作物の存在及び供用	
				雨水の排水	造成等の工事	建設機械の稼働	車両の運行	資材及び機械の運搬に用いる	敷地の存在（土地の改変）	構造物の存在			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等			○	○						
		騒音	騒音			○	○						
		振動	振動			○	○						
	水環境	水質	水の濁り	○									
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質					○					
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地					○					
	植物		重要な種及び群落					○					
	生態系		地域を特徴付ける生態系					○					
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観					○	○				
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場					○	○				
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物		○								

参考手法（土地区画整理事業）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械に稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響</p>

		<p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	雨水の排水	<p>1 調査すべき情報 国又は関係する地方公共団体による水質に係る規制等の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>3 調査地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>4 調査地点 雨水を排水する地点</p>	<p>1 予測の基本的な方法 原単位法により浮遊物質量を計算</p> <p>2 予測地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>3 予測地点 雨水を排水する地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象土地区画整理事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象土地区画整理事業実施区域及びその周辺の区域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象土地区画整理事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象土地区画整理事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

眺望景観及び 周囲景観	敷地の存在（土地 の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 周囲景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び周囲景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び周囲景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との 触れ合いの活動の場	敷地の存在（土地 の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象土地区画整理事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う 副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象土地区画整理事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>



12 住宅の用に供する一団の土地の造成事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				工 事 の 実 施				土地又は工作物 の存在及び供用	
				雨水の排水	造成等の工事	建設機械の稼働	車両の運行	資材及び機械の運搬に用いる	敷地の存在（土地の改変）
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等			○	○		
		騒音	騒音			○	○		
		振動	振動			○	○		
	水環境	水質	水の濁り	○					
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質					○	
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地					○	
	植物		重要な種及び群落					○	
	生態系		地域を特徴付ける生態系					○	
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観					○	○
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場					○	○
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物		○				

参考手法（住宅団地造成事業）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械に稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて予測地域における振動に係る環境影響</p>

		<p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	雨水の排水	<p>1 調査すべき情報 国又は関係する地方公共団体による水質に係る規制等の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>3 調査地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>4 調査地点 雨水を排水する地点</p>	<p>1 予測の基本的な方法 原単位法により浮遊物質量を計算</p> <p>2 予測地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>3 予測地点 雨水を排水する地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象住宅団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象住宅団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象住宅団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象住宅団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

眺望景観及び 周囲景観	敷地の存在（土地 の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 周囲景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び周囲景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び周囲景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然との 触れ合いの活動の場	敷地の存在（土地 の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報 イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況 ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象住宅団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う 副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法 建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域 対象住宅団地造成事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等 工事期間</p>

13 流通業務施設の用に供する一団の土地の造成

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				工 事 の 実 施				土地又は工作物 の存在及び供用	
				雨水の排水	造成等の工事	建設機械の稼働	車両の運行	資材及び機械の運搬に用いる	敷地の存在（土地の改変）
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉ん等			○	○		
		騒音	騒音			○	○		
		振動	振動			○	○		
	水環境	水質	水の濁り	○					
	土壤に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質					○	
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地					○	
	植物		重要な種及び群落					○	
	生態系		地域を特徴付ける生態系					○	
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観					○	○
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場					○	○
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物		○				

参考手法（流通業務団地造成事業）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械に稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 気象の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
騒音	建設機械の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>



		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 振動の状況</p> <p>ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響</p>

		<p>境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	雨水の排水	<p>1 調査すべき情報 国又は関係する地方公共団体による水質に係る規制等の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p> <p>3 調査地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>4 調査地点 雨水を排水する地点</p>	<p>1 予測の基本的な方法 原単位法により浮遊物質量を計算</p> <p>2 予測地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>3 予測地点 雨水を排水する地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象流通業務団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象流通業務団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象流通業務団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象流通業務団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

眺望景観及び 周囲景観	敷地の存在（土地 の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 主要な眺望景観の状況</p> <p>ロ 周囲景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>主要な眺望景観の状況及び周囲景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び周囲景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び周囲景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
主要な人と自然 との触れ合いの 活動の場	敷地の存在（土地 の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象流通業務団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う 副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象流通業務団地造成事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>

14 工場又は事業場の用に供する一団の土地の造成事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分			影響要因 の区分	工 事 の 実 施				土地又は工作物 の存在及び供用		
				雨水の排水	造成等の工事	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	敷地の存在（土地の改変）	構造物の存在	工場等の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	窒素酸化物							○
			硫黄酸化物							○
			浮遊粒子状物質							○
			粉じん等			○	○			
		騒音	騒音			○	○			○
		振動	振動			○	○			
	水環境	水質	水の濁り	○						
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質					○		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地					○		
	植物		重要な種及び群落					○		
	生態系		地域を特徴付ける生態系					○		
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び圍繞景観					○	○	
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場					○	○	
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物		○					

参考手法（工業団地造成事業）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
窒素酸化物	工場等の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化窒素の濃度の状況：二酸化窒素に係る環境基準に規定する二酸化窒素の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>窒素酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における窒素酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
硫黄酸化物	工場等の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に定める方法とする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 二酸化硫黄の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する二酸化硫黄の濃度の測定の方法</li> <li>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</li> </ol> </li> <li>3 調査地域               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>4 調査地点               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、調査地域における硫黄酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> </li> <li>5 調査期間等               <p>春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、硫黄酸化物に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> </li> <li>3 予測地点               <p>硫黄酸化物の拡散の特性を踏まえ、予測地域における硫黄酸化物に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> </li> <li>4 予測対象時期等               <p>工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p> </li> </ol>
浮遊粒子状物質	工場等の稼働	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報               <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況</li> <li>ロ 気象の状況</li> </ol> </li> <li>2 調査の基本的な手法               <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（次に掲げる情報については、それぞれ次に</p> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法               <p>ブルーム式及びパフ式による計算</p> </li> <li>2 予測地域               <p>調査地域のうち、浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子</p> </li> </ol>

		<p>定める方法とする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>イ 浮遊粒子状物質の濃度の状況：大気汚染に係る環境基準に規定する浮遊粒子状物質の測定の方法</p> <p>ロ 風の状況：気象業務法施行規則に規定する風向の観測方法及び風速の観測方法</p> <p>3 調査地域 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、浮遊粒子状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 春夏秋冬ごとにそれぞれ1週間</p>	<p>状物質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえ、予測地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
粉じん等	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況</p>	<p>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式に</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロ 地表面の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よる計算</li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ul> </li> </ul>
資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>4 調査地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>5 調査期間等 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ul> </li> </ul>
工場等の稼働	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 騒音の状況</li> <li>ロ 地表面の状況</li> </ul> </li> <li>2 調査の基本的な手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> </ul> </li> <li>3 調査地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> </ul> </li> <li>2 予測地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> </ul> </li> <li>3 予測地点 <ul style="list-style-type: none"> <li>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> </ul> </li> <li>4 予測対象時期等</li> </ul>



		<p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	工場等の稼働が定常状態であり、適切に予測できる時期
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事用の資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>
水の濁り	雨水の排水	<p>1 調査すべき情報 国又は関係する地方公共団体による水質に係る規制等の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理</p>	<p>1 予測の基本的な方法 原単位法により浮遊物質量を計算</p> <p>2 予測地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>3 予測地点</p>

		<p>3 調査地域 雨水を排水する公共用水域</p> <p>4 調査地点 雨水を排水する地点</p>	<p>雨水を排水する地点</p> <p>4 予測対象時期等 工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象工業団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象工業団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況 ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p>	<p>1 予測の基本的な方法 植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育及</p>

		<p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象工業団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 動植物その他自然環境に係る概況 ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象工業団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがあると地域</p> <p>3 予測対象時期等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	<p>敷地の存在（土地の改変）</p> <p>構造物の存在</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 主要な眺望景観の状況 ロ 圍繞景観の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切か</p>	<p>1 予測の基本的な方法 主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		つ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯	
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	敷地の存在（土地の改変） 構造物の存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象工業団地造成事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
建設工事に伴う副産物	造成等の工事		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>建設工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象工業団地造成事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>

15 鉱物又は岩石の採取の事業

表 環境影響評価項目の例

環境要素 の区分				影響要因 の区分		工事の 実 施		土地又は工作物 の存在及び供用		
				工事	設備・採取用道路の	敷地の存在	鉱物等の採取	鉱物等の搬出		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質	粉じん等	○			○			
		騒音	騒音	○			○	○		
		振動	振動	○			○	○		
	水環境	水質	水の濁り	○			○			
		地下水	地下水の水位				○			
	土壌に係る環境・その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○			
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	動物		重要な種及び注目すべき生息地				○			
	植物		重要な種及び群落				○			
	生態系		地域を特徴付ける生態系				○			
人と自然との豊かな触れ合い	景観		主要な眺望景観及び困繞景観				○	○		
	人と自然との触れ合いの活動の場		重要な人と自然との触れ合いの活動の場				○			
環境への負荷	廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○						
			採取に伴う副産物				○			

参考手法（鉱物・岩石の採取）

環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	設備・採取用道路の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 設備・採取用道路の工事による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>
	鉱物等の採取、鉱物等の搬出	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 気象の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> <li>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえ、粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ、予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 鉱物等の採取、搬出が定常状態であり、適切に予測できる時期</li> </ol>
騒音	設備・採取用道路の工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調査すべき情報 イ 騒音の状況 ロ 地表面の状況</li> <li>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</li> <li>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予測の基本的な方法 音の伝搬理論に基づく予測式による計算</li> <li>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</li> <li>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</li> <li>4 予測対象時期等 設備・採取用道路の工事による騒音に係る環境影響が最大となる時期</li> </ol>

		<p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	
	<p>鉱物等の採取</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>鉱物等の採取が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
	<p>鉱物等の搬出</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 騒音の状況</p> <p>ロ 鉱物等の搬出に用いる車両の運行が予想される道路の沿道の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>音の伝搬理論に基づく予測式による計算</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえ、騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>鉱物等の搬出が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
<p>振動</p>	<p>設備・採取用道路の工事</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p>

		<p>振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえて予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 設備・採取用道路の工事による震動に係る環境影響が最大となる時期</p>
	<p>鉙物等の採取</p>	<p>1 調査すべき情報 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 鉙物等の採取が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
	<p>鉙物等の搬出</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 振動の状況 ロ 地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（振動の状況については、振動規制法施行規則別表第2備考4及び7に規定する測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 振動の伝搬の特性を踏まえ、調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 振動レベルの80%レンジの上端地を予測するための式を用いた計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえ、振動に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえ、予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 鉙物等の搬出が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
<p>水の濁り</p>	<p>設備・採取用道路の工事</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況（河川にあっては、その調査時における流量の状況を含む。）</p>	<p>1 予測の基本的な方法 事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及</p>



		<p>ロ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析。調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>び水の濁りの変化の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 設備・採取用道路の工事による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
	<p>鉍物の採取</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 濁度又は浮遊物質量の状況（河川にあっては、その調査時における流量の状況を含む。） ロ 土質の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>4 調査地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 浮遊物質の物質の収支に関する計算又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 水域の特性及び水の濁りの変化の特性を踏まえ、予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 鉍物等の採取が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>
<p>地下水の水位</p>	<p>鉍物等の採取</p>	<p>1 調査すべき情報 イ 地下水の水位の状況 ロ 地質の状況 ハ 地下水の利用の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 地質の特性を踏まえ、地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがある</p>	<p>1 予測の基本的な方法 地下水の水理に関する解析又は事例の引用若しくは解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地質の特性を踏まえ、地下水の水位に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測地点 地質の特性を踏まえ、予測地域における地下水の水位に係る環境影</p>

		<p>4 調査地点 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地質の特性を踏まえ、調査地域における地下水の水位に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 地下水の水位に係る環境影響が定常状態になる時期</p>
重要な地形及び地質	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 地形及び地質の概況 ロ 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象鉱物等採取事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえ、調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>1 予測の基本的な方法 重要な地形及び地質について、分布又は成立環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び注目すべき生息地	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報 イ 脊椎動物、昆虫類その他主な動物に係る動物相の状況 ロ 動物の重要な種の分布、生息の状況及び生息環境の状況 ハ 注目すべき生息地の分布並びに当該生息地が注目される理由である動物の種の生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象鉱物等採取事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法 動物の重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等 動物の生息の特性を踏まえ、重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

重要な種及び群落	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 種子植物その他主な植物に係る植物相及び植生の状況</li> <li>ロ 植物の重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉱物等採取事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、調査地域における重要な種及び群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>植物の重要な種及び群落について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>植物の生育及び植生の特性を踏まえ、重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
地域を特徴づける生態系	敷地の存在（土地の改変）	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 動植物その他自然環境に係る概況</li> <li>ロ 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉱物等採取事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>注目種等について、分布、生息環境又は生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえ、注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
眺望景観及び圍繞景観	敷地の存在（土地の改変） 鉱物等の採取	<p>1 調査すべき情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 主要な眺望景観の状況</li> <li>ロ 圍繞景観の状況</li> </ul> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況を適切に把握できる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な眺望景観についての完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現方法及び圍繞景観についての改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p>

		<p>測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>景観の特性を踏まえ、調査地域における主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>景観の特性を踏まえ、主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>敷地の存在（土地の改変）</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>イ 人と自然との触れ合い活動の場の概況</p> <p>ロ 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象鉱物等採取事業実施区域及びその周辺の区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえ、調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を受けるおそれがある地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場の特性を踏まえ、主要な人と自然との触れ合い活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>建設工事に伴う副産物</p>	<p>設備・採取用道路の工事</p>		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>設備・採取用道路の工事に伴う副産物の種類ごとの発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象鉱物等採取事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>
	<p>鉱物等の採取</p>		<p>1 予測の基本的な方法</p> <p>鉱物等の採取に伴う土石の発生の状況の把握</p> <p>2 予測地域</p> <p>対象鉱物等採取事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>鉱物等の採取が定常状態であり、適切に予測できる時期</p>

## 16 複合開発整備事業

複合開発整備事業の内容により、関連する以下の事業を参考に環境影響評価項目を設定する。

- 9 スポーツ又はレクリエーション施設の設置若しくは変更又はその用地の造成の事業
- 12 住宅の用に供する一団の土地の造成事業
- 13 流通業務施設のように供する一団の土地の造成事業
- 14 工場又は事業場のように供する一団の土地の造成事業